

背景や関連するデータ

【8050問題】

ひきこもりが長期化するなか親も高齢となり、世帯の収入が途絶えたり、病気や介護がのしかかったりして、孤立、困窮するケースが顕在化し始めています。こうした例は「80代の親と50代の子」を意味する「8050問題」と呼ばれています。国は平成30年度に、40～59歳を対象にしたひきこもりの全国調査を行うことを決めました。

○ひきこもり対策推進事業の強化(平成30年度～)厚生労働省HPより

生活困窮者自立支援制度において、訪問支援等の取組を含めた手厚い支援を充実させるとともに、ひきこもり地域支援センターのバックアップ機能等の強化を図り、相互の連携を強化します。

これにより、住民に身近な市町村でのひきこもり支援を充実・強化し、隙間のない支援を実現します。

【65歳以上の方の世帯の状況】

65歳以上の方の世帯の状況は、次のとおりです。この相談対応の例のように、親と未婚の子のみの世帯の割合は約2割となっています。

65歳以上の方がいる世帯の世帯構造(平成29年国民生活基礎調査より)

